

Special Interest Group

「運動学習 科学を実際の症例に活かそう！」

注意の焦点化 グループ

注意の焦点化グループの討議内容

前期: **立位バランス**の**運動学習**を目的とした理学療法
を実施する上で**注意の焦点化**をどのように用いるか?

後期: 日常生活の歩行を考慮して、**様々な状況での歩行の**
運動学習を目的とした理学療法を行う上で
注意の焦点化をどのように用いるか?

注意の焦点化班の流れ

全体講義

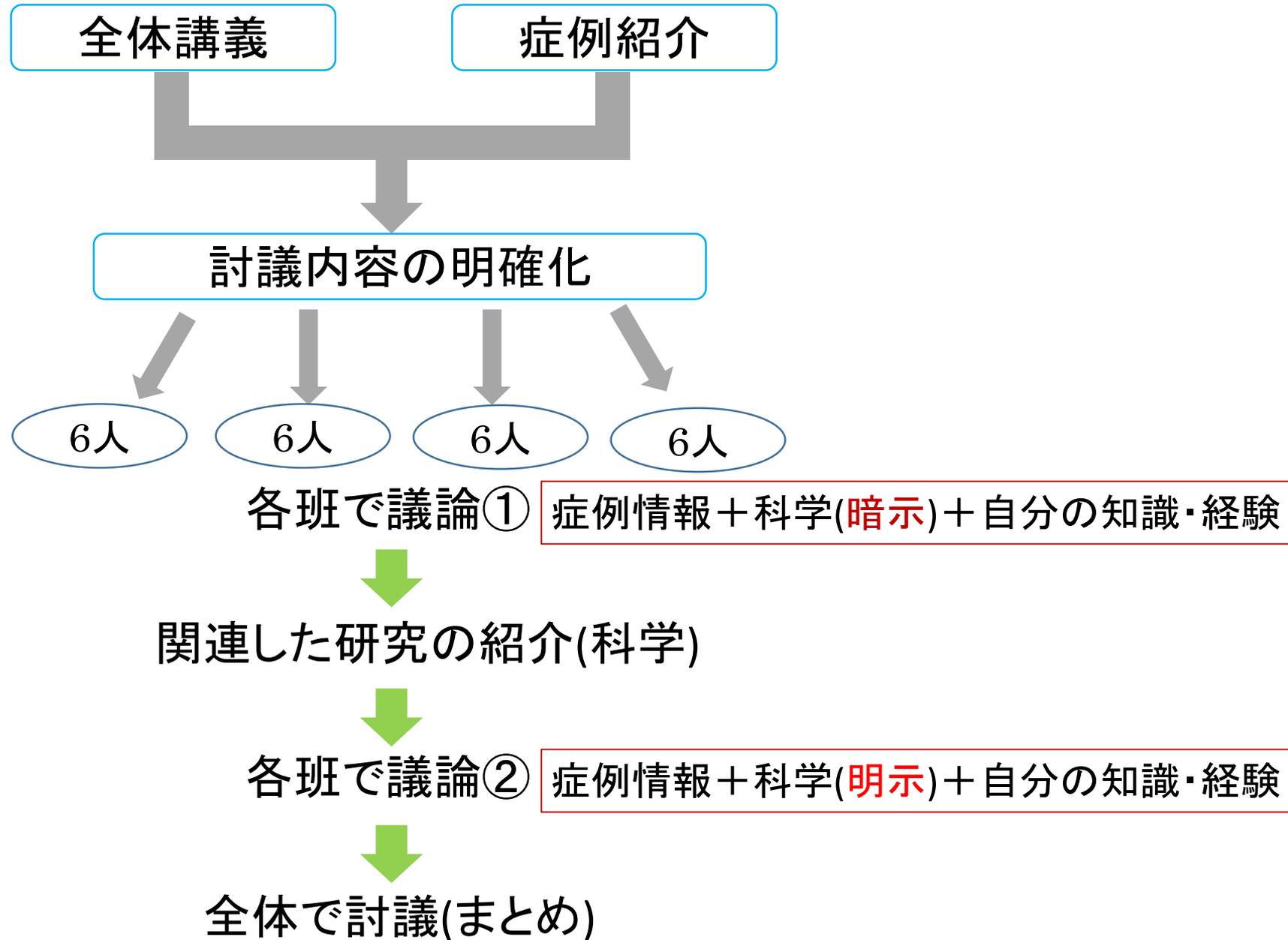
症例紹介

討議内容の明確化

前期:

開脚立位の不安定性の改善を
目的とした理学療法を実施する上で、
注意の焦点化という視点から、
何をどう評価し、どう介入するか?

注意の焦点化班の流れ



前期の討議内容

開脚立位の不安定性の改善を目的とした理学療法を実施する上で、注意の焦点化という視点から、何をどう評価し、どう介入するか？

注意の焦点化という視点から
何をどう評価するか？

-
-
-
-

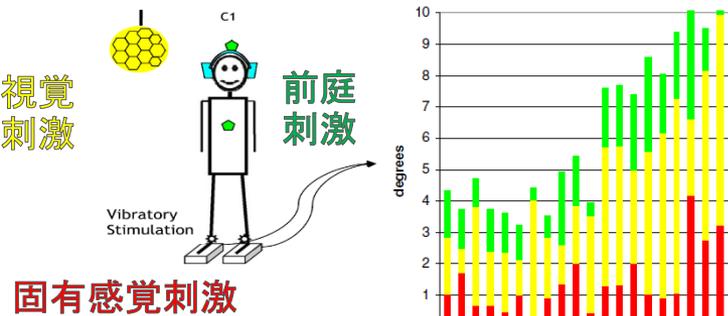
注意の焦点化という視点から
どう介入するか？

-
-
-
-

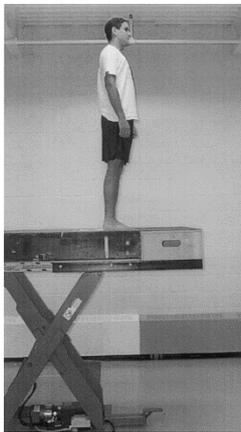
前期の討議内容

注意の焦点化という視点から
何をどう評価するか？

- ①注意は身体内・外のどちらに向いているか→二重課題
- ②感覚依存評価→開眼・閉眼



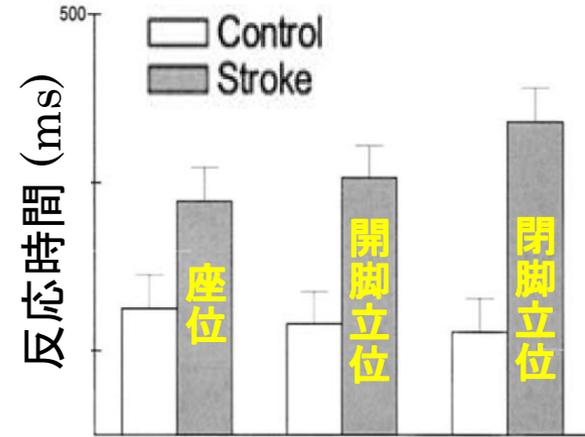
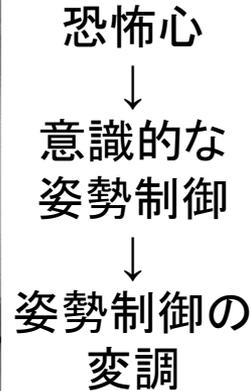
各感覚刺激への反応は
個人差がある. (Bonan IV 2013)



Huffman JL 2009

注意の焦点化という視点から
どう介入するか？

- ①難易度設定→最適難易度での二重課題
- ②開眼・閉眼を使い分ける



Brown LA 2002

- ①感覚依存評価→開眼・閉眼, 頸部
- ②注意は身体内・外のどちらに向いているか→二重課題
- ③スティフネス(努力的)の程度
- ④立位の左右非対称性がどのような感覚の問題によって生じているか

- ①②体性感覚に注意を向ける, 閉眼
- ②③二重課題を併用した立位練習(症例の能力によっては身体内部に注意を向けて練習を開始しても良い)
- ②③難易度調整→姿勢, 装具, 杖, ライトタッチ

後期の討議内容

1ヶ月後に退院することを想定し、退院後の日常生活での転倒回数の減少を目的とした理学療法を実施する上で注意の焦点化をどのように用いるか。

注意の焦点化という視点から何をどう評価するか？

-
-
-
-

注意の焦点化という視点からどう介入するか？

-
-
-
-

